



平成 19 年 3 月 9 日

各 位

会 社 名 株 式 会 社 テ イ ツ ー
 代表者の役職名 代表取締役社長 大橋 康宏
 (J A S D A Q ・ コード 7 6 1 0)
 問い合わせ先 取締役 C F O 片山 靖浩
 電 話 番 号 0 3 - 5 4 0 8 - 5 1 0 0 (代 表)

平成 19 年 2 月期通期 (連結・単独) 業績予想の修正及び特別損失の発生に関するお知らせ

平成 19 年 2 月期(平成 18 年 3 月 1 日～平成 19 年 2 月 28 日)の業績予想について、平成 18 年 12 月 20 日付当社「平成 19 年 2 月期第 3 四半期財務・業績の概況(連結)」および「平成 19 年 2 月期第 3 四半期財務・業績の概況(単独)」にて発表いたしました業績予想を下記のとおり修正いたします。なお、下記のとおり、特別損失が発生いたしますので、その概要をお知らせいたします。

記

1. 平成 19 年 2 月期 連結業績予想の修正等

(1) 通期 (平成 18 年 3 月 1 日～平成 19 年 2 月 28 日)

(単位 : 百万円)

	売 上 高	経 常 利 益	当 期 純 利 益
前回予想 (A)	4 2 , 5 0 0	8 0 0	3 4 0
今回修正 (B)	4 4 , 7 0 0	9 5 0	1 6 0
増減額 (B - A)	2 , 2 0 0	1 5 0	1 8 0
増減率	5 . 1 %	1 8 . 7 %	5 2 . 9 %

(2) 修正理由

連結売上高につきましては、古本市場事業における新品ゲーム、中古ゲームの売上高が予想以上に好調に推移し、前回予想を上回る 4 4 , 7 0 0 百万円 (前回予想比 2 , 2 0 0 百万円増) となる見込みであります。

連結経常利益につきましては、アイ・カフェ事業における直営店の出店に伴う費用の増加、F C 出店の遅れ、今期出店した店舗の売上の伸びが予想を下回ったことなどがあるものの、古本市場事業が予想を上回る好調を持続したことから 9 5 0 百万円 (前回予想比 1 5 0 百万円増) となる見込みであります。

連結当期純利益につきましては、以下に記載の特別損失の計上により、前期実績と同水準の 1 6 0 百万円 (前回予想比 1 8 0 百万円減) となる見込みであります。

(3) 特別損失の発生とその内容

古本市場 1 店舗、アイ・カフェ 3 店舗の減損損失約 2 6 0 百万円、アイ・カフェ 1 店舗の閉店損失約 8 0 百万円、退職給付会計原則法の適用による特別損失 5 3 百万円、有価証券評価損約 2 0 百万円、一部システムの除却損約 2 5 百万円等を併せて、約 4 6 0 百万円の特別損失を計上いたします。

(4) ご参考：前期実績（平成17年3月1日～平成18年2月28日）

（単位：百万円）

	売上高	経常利益	当期純利益
通期（3/1～2/28）	35,556	672	160

2. 平成19年2月期単独業績予想の修正等

(1) 通期（平成18年3月1日～平成19年2月28日）

（単位：百万円）

	売上高	経常利益	当期純利益
前回予想（A）	39,500	940	390
今回修正（B）	42,150	1,150	450
増減額（B - A）	2,650	210	60
増減率	6.7%	22.3%	15.3%

(2) 修正理由

売上高につきましては、古本市場事業において、新品ゲーム・中古ゲームの売上高が予想以上に好調に推移し、通期の古本市場既存店増収率は22.4%増(速報)となりました。この結果、前回予想を上回る42,150百万円(前回予想比2,650百万円増)となる見込みであります。

経常利益につきましても、売上が好調に推移したことによる売上総利益の増加が見込まれ、前回予想を上回る1,150百万円(前回予想比210百万円増)となる見込みであります。

当期純利益につきましては、上記の理由による増加があるもの、以下に記載の特別損失の計上により、450百万円(前回予想比60百万円増)となる見込みであります。

(3) 特別損失の発生とその内容

古本市場1店舗、アイ・カフェ1店舗の減損損失約110百万円、退職給付会計原則法の適用による特別損失53百万円、有価証券評価損約20百万円等を併せて、約200百万円の特別損失を計上いたします。

(4) ご参考：前期実績（平成17年3月1日～平成18年2月28日）

（単位：百万円）

	売上高	経常利益	当期純利益
通期（3/1～2/28）	33,270	646	150

以上